

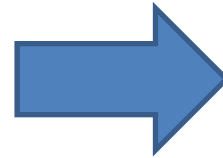
あいち科学技術・知的財産アクションプラン2016－2020の概要 ～「イノベーションあいち」の推進～

あいち科学技術・知的財産アクションプラン 2016－2020 について

- ・科学技術基本法や知的財産基本法を踏まえ個別に策定してきた「科学技術」と「知的財産」分野の計画について、両分野の施策を一体的に推進していくプランとして策定。
【〈科学技術〉第1期科学技術基本計画(1999～2005)、第2期科学技術基本計画(2006～2010)、「知の拠点基本計画」(2007～2015) 〈知的財産〉あいち知的財産創造プラン(2004～2010)、新あいち知的財産プラン(2011～2015)】
- ・「あいち産業労働ビジョン 2016-2020」の個別計画として、科学技術や知的財産分野で本県が中長期的に実施、推進すべき施策の方向性や取組を示す。

科学技術・知的財産分野をとりまく現状と課題

- ・イノベーション創出に向けた世界的な競争の激化
- ・オープンイノベーションや情報通信技術とモノづくりの結合の進展
- ・モノづくりと知的コンテンツが分野横断的に複雑に絡み合う産業構造の進展
- ・高齢化に伴う人口構造の変化と社会の成熟化 等



- ・イノベーション創出を推進するため、ハード・ソフト両面からその基盤となる高度な研究開発環境の整備が必要
- ・重点分野を設定し産学行政が連携した取組を推進することが重要
- ・特許やブランド等知的財産面からの中小企業や地域の取組への支援が必要
- ・次代の愛知のモノづくりを担う人材の育成・確保や知を生み、育て、活かす地域づくりが重要

あいち科学技術・知的財産アクションプラン 2016－2020 の基本的な考え方

- 科学技術の創造や知的財産の活用等によるイノベーションを通じた課題の克服がこれまで以上に重要となる中、「科学技術」分野と「知的財産」分野の施策を車の両輪として、一体的に推進。
- 両分野の施策の相互連携を進め、①産学行政が連携したイノベーション創出基盤の整備や機能の強化、②創出・集積された知的財産を活用した企業の取組の支援、③その担い手の育成・確保を通じたイノベーションの推進と知的財産の創出・集積・活用の「好循環」により、地域の競争力を高め、「産業首都あいち」の実現を目指す。

目標:「産業首都あいち」の実現に向けた「イノベーションあいち」の推進

計画期間:2016年度～2020年度(5年間) 2030年頃の社会経済を展望し、2020年を目標年次とする

あいち科学技術・知的財産アクションプラン 2016－2020 の施策の方向性と主な取組

施策の柱1 イノベーションを創出する基盤づくり

- 「知の拠点あいち」を始め研究開発支援拠点の整備
 - ・あいちシンクロtron光センターの機能強化やあいち新エネルギー実証研究エリアの整備・運用など「知の拠点あいち」の基盤整備
 - ・知的所有権センターや産業デザイントライアルコア、知財総合支援窓口等を活用した中小企業等の支援
- 産学行政による研究開発拠点の集積促進
 - ・企業の先端工場や研究施設等の立地支援、大学等の先端研究拠点の設置促進、研究開発型ベンチャーの創出・育成

学術・研究開発機関事業所数の全国シェア 5.5%程度(～2020)〈2012:5.0%〉

施策の柱2 産学等の協働・連携を推進する仕組みづくり

- 研究推進・支援団体の機能強化、研究交流・連携活動の推進
 - ・科学技術交流財団の研究支援機能の充実
- 「知の拠点あいち」を核とした産学行政による研究開発・中小企業等の製品開発の推進
 - ・次期重点研究プロジェクトや公募型研究プログラムの実施
- 特区制度等の活用による実証研究環境等の整備
- 知財ビジネスマッチングなどのオープンイノベーションの促進
 - ・特許活用コーディネーターによるシーズ・ニーズ発掘やマッチングイベント

県内理工系大学等の共同研究数 1,300件/年度〈2011-14 平均:1,160件〉

施策の柱3 重点分野における研究開発・社会実装の推進

- 次世代成長分野における研究プロジェクトの推進
 - ・次世代自動車分野
 - ・航空宇宙分野
 - ・ロボット分野
 - ・健康長寿分野
 - ・環境・新エネルギー分野
 - ・ICT, IoT, 「標準化」分野 等

ロボット製造業の製造品出荷額等国内シェア 30%(2020)〈2013:21.9%〉

施策の柱4 知財経営によるモノづくり力の強化

- 中小企業のグローバル展開支援
 - ・外国出願費用の補助、ジェトロやあいち国際ビジネスセンター等との連携
- 知財経営による中小企業力の強化
 - ・重点研究プロジェクトの成果や新あいち創造研究開発補助金等の研究開発成果から知的財産の活用等に取り組む中小企業支援

知財ビジネスマッチングによるライセンス契約件数 10件(～2020)〈2015 新規〉

施策の柱5 知財を活用した地域力の強化

- 地域ブランド化に対する支援など地域資源の発掘・活用・発信
 - ・中小企業応援ファンドやふるさと名物応援事業補助金等による商品・サービス開発支援
- 地域資源の権利化促進やデザインによる高付加価値化への支援等
 - ・県が開発した新品種や新技術の知的財産権の取得促進

地域団体商標新規出願件数 5件(～2020)〈2011-14:2件〉

横断的な施策 知を生み、育て、活かす人材・地域づくり

- 次代を担う科学技術人材の育成支援
 - ・「知の拠点あいち」における計測分析機器実習等の実施やスーパーサイエンスハイスクールなど先進的理数教育の実施
- 知財を大切に作る機運の醸成、知財教育、モノづくり教育の充実
 - ・「愛知の発明の日」の周知や青少年発明クラブの活動促進

県内の研究者数・技術者数 154,000人(～2020)〈2010:153,500人〉